

「日本女性会議 2022 in 鳥取くらよし」に参加して

テーマ：～だれもが共に、笑顔になれる夢ある未来～

文＝男女共同参画推進会議ひの 山根美奈子



10月28日と29日、鳥取県立倉吉未来中心（倉吉市）で「日本女性会議 2022 in 鳥取くらよし」が開催され、男女共同参画推進会議ひのの会員9人が参加しました。

2日間で、県内外から約2,000人が集結。分科会や講演会、記念シンポジウムが行われるなど、活気のある会となりました。

次回開催は2025年（令和7年）、開催地は奈良県橿原市です。

〈日本女性会議って？知っていますか？〉

男女共同参画に関する国内最大級の会議として、男女平等社会の実現に向けて課題の解決を探るとともに、参加者相互の交流とネットワークづくりを目的に、30年以上にわたりさまざまな都市で開催されています。新型コロナウイルス感染症の影響で1年延期となっていました。今年、倉吉市で開催されました。



第4分科会「性の権利と健康」で紹介！

幼児向け性の絵本

「だじだじどーこだ？」 作：遠見才希子 絵：川原瑞丸

★ママ・パパたちにおすすめてです。

自分を守る力をはぐくみます。ぜひ読んでみてください。



〈参加しての感想〉 大人社会の「学び直すチャンスと啓発」を

28日に行われた9つの分科会では、SDGsをテーマにした高校生の発表や、女性活躍についてなど、さまざまなテーマで意見交換が行われました。テーマ「防災」の分科会では、日野ボランティアネットワーク代表の山下弘彦さんがコーディネーターを務められ、医療的ケア児と防災についてなど、深く意見交換をされていました。

29日に行われた全体会では、「弱者が弱者のまま尊重される社会とは？」というテーマでパネルディスカッションが行われました。パネリストの女子大学生が自身の育ちとジェンダー平等について深く内的に考察していた姿を見て、未来は明るいと感じました。また、印象的だったのが社会学者でありジェンダー研究のパイオニアである上野千鶴子さんの「我慢しない女が世の中を変えてきた」という言葉です。若い人たちが真剣にジェンダー平等社会について議論する中で、大人はもっと学ばなければならないと痛感しました。

上野さんは「すべての人が生きがいを感じ、個性と多様性を尊重する社会を実現するために、男女共同参画は極めて重要。そして日本の経済社会の持続的発展にも大事である」と話します。しかし、令和4年7月に世界経済フォーラムが発表した「ジェンダーギャップ指数」では、146カ国中日本は116位。日本の女性が直面する課題は山積していることがわかりました。

今は学校教育での男女共同参画社会の学びが深まっていますが、大人社会の「学び直すチャンスと啓発」が必要です。既存の価値観の中にどっぷり浸かっていないで、これからの社会、家庭、男女の関係、地域や企業などのあり方を多角的に捉え議論していくことが大切であると実感しました。

今回の会議参加をきっかけに、日野町の男女共同参画の推進、女性活躍の環境整備などについて、今後も住民の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



日野高 NEWS

日野郡唯一の高等学校である日野高校。日野高生ってどんな活動をしているの？地域とのつながりを大切にしている日野高生の姿を、日野町の皆さんにお届けします！



11/10
(木)

多くの買い物客でにぎわう

「日野高ショップ黒坂店」秋冬野菜販売

11月10日、日野高校黒坂施設の体育館で、「日野高ショップ黒坂店」を開催しました。

ネギ、白菜などの秋冬野菜や、パンジー、ビオラなどの花壇花、梨ジャムやトマトケチャップなどの農産加工品を販売し、買い物客でにぎわいました。

販売を担当したアグリライフ系列の3年次生は、自分たちが栽培したり製造をした商品に固定客が増えてきていることに、手ごたえを感じているようでした。

▼▶生徒が自ら手渡しで、地域の皆さんに販売しました。



manabiya engawa Newsletter

まなびや縁側日野拠点

えんがわ通信

まなびや縁側は、日野郡3町が連携して設立・運営する公設塾です。

【問合せ】電話：080-1338-0743

Mail：hino.engawa@gmail.com

★ ラジオ番組を作ろう！キャリアアップゼミ

11月4日と15日に、キャリアアップゼミが行われました。今回のテーマは、「まなびや縁側をラジオで紹介しよう」です。3町(日野・江府・日南)の拠点をオンラインで繋いで、ラジオ番組の台本づくりに挑戦しました。それぞれの拠点のよさや魅力についてまとめ、台本に取り込んでいきました。台本としてどのように表現したらよいのかなど、頭を悩ませながらも、皆で話し合いつつ形作っている様子でした。また、ラジオの台本づくりは、

- ①どの層(リスナー)に届けたいかを考える
 - ②聞いたリスナーに何を感じてほしいかを考える
 - ③②のように感じてもらえるために、リスナーへどんな形で伝えるかを考える
- を意識して作成しています。

★ 日野川周辺でゴミ拾い！



10月26日、日野川周辺でゴミ拾いを行いました。たばこのポイ捨てに関するゴミ拾いの啓発動画を見た生徒が、自分も行動したいと思い立ち、実施しました。

生徒たちは、「たばこ以外にもゴミがあった!」「自分の思っていた以上にゴミがあった」と気付いたり、「ポイ捨てをどうにか防ぐ方法はないか、それを企画したい」と、次を考える生徒もいて、それぞれに学びがあった様子でした。



▲12月の収録で生徒たちが「誰に、何を、どのように」伝えるラジオになるのか楽しみです!